

令和6年度宝達志水町子ども・子育て会議	
議件	1 開会 2 委嘱状交付 3 委員の紹介 4 議題 (1)子ども・子育て支援事業計画策定の概要について (2)宝達志水町第3期子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査について (3)第2期子ども・子育て支援事業計画及び第3期子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査を踏まえての課題について (4)第3期子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について (5)その他 5 閉会
日時	令和6年9月26日(木)16:00～17:30
場所	宝達志水町民センター「アステラス」2階 研修室
出欠	出席:側垣会長、基村副会長、村井委員、木村委員、中村委員、越田委員、杉中委員、吉井委員、坂室委員 欠席:荒川委員、飯貝委員、松川委員
事務局	中川子育て応援室長、宮本生涯学習課長、松原学校教育課長補佐、岡田子育て応援室次長、金曾子育て応援室主幹、水原子育て応援室保健師
議事	【資料説明】 4 議題 (1)子ども・子育て支援事業計画策定の概要について (2)宝達志水町第3期子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査について (3)第2期子ども・子育て支援事業計画及び第3期子ども・子育て支援事業計画策定にかかるアンケート調査を踏まえての課題について (4)第3期子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について 【質問事項・意見・回答事項など】 (委員) アンケートの結果57ページ、就学前で問31の「宝達志水町は子育てしやすいところだと思うか。」という質問ですが、前回同じ質問をされているか、どのように変わったか教えていただきたい。アンケートの107ページ、問27で小学生を対象に同じ質問があるが、前回に対比してどうなのか教えていただきたい。 (事務局) 前回(5年前)の調査の内容集計の取り方が違っている。前は宝達志水町における子育ての環境や支援への満足度という調査項目があり、1～5点で表している。(5点が満足が高い)3点が一番多く、次に2点が多くなる。5年前も現在も満足度はそれほど変わらないという結果になる。

(議長)

大事な点を指摘されている。見た目に比較できるものが提示されていると望ましい。前回との比較が分かりやすいのではないか。

(事務局)

今回と前回で質問の仕方が変わっており、直ちにお示しできないが、次回に比較できるグラフをお示ししたい。

(委員)

概要の既存事業 5 ページの病児病後児保育事業について教えていただきたい。

(事務局)

当町では、保育所で病後児保育に取り組んでいる。小児科医がいないので、病児保育は取り組んでいない。

(委員)

骨子案の 17 ページ下の病児病後児保育事業ですが、利用数減少の原因はコロナとされたが、コロナ明けの令和5年も 1 人だった。アンケート 31 ページの質問 14-2 で「利用したいと思わない」が 76.4%。PR 不足だとおっしゃったが、どう分析されているのか。

(事務局)

保育所で病後児保育を支援していることを、保護者にお知らせした方が良いのではないかと、現場での声掛けをしたり、コドモンで配信したりしている。令和 6 年度の利用は PR したこともあり伸びている。両親のどちらかが休んで看たい、自分たちで看たいという保護者の意向も増えてきていると分析している。現場や子育て相談の中で聞き取りをしてほしいと思っている。

なお、一般的に他の自治体でも利用は低迷している。乳児が病気で苦しんでいるときに保護者は付き添っていたいという思いが強い。事業の PR を引き続き進めたい。

(5) その他

(会長)

これから計画を立てていく前提として、児童数が減少している現状、小中の統合が進んでいる。今の項目も大事だが、カンフルが必要ではないか。個性ある計画が必要と感じる。子ども達が生まれ育つアイデアがいる。他の市町でも子育て支援に成功した事例も参考になるのではないか。出生数が町全体で 30 数人になっているのが現実。育てやすい環境だとデータでは出るかもしれないが、私は思わない。ここに居て子どもを育て産み育てる若い世代の気持ちを支える政策が必要ではないかという、個人的な感想を持っている。ぜひそういった計画が立てられるように個人的に思っている。

(委員)

2 点あるが、まず一つは、経済的に体操服が出ている、66 ページ経済的支援 制服代が高

くなっている。114 の4 115 ページの6に 制服に対する負担について記載がある。保護者の方が、制服代が高いと思っておられるなら、メリットデメリットがあると思うが、計画に反映されたらという思い。

二つ目は、保育所の民営化を考えているのなら、子を預かる施設として民営化は保護者に心理的な影響がある。実際に民営化を考えられているのなら、計画に謳ったうえで、進めていかれるほうがいいのではないかと参考にしていただけたらと思う。

(事務局)

民営化については、保護者の方からサービスの向上を目指したいなど民営化を望む声があれば計画に載せることはできるかもしれないが、アンケートの中にもそのような項目を盛り込んでいないため、計画に載せることはできない。

経済的に困難な方には、就学援助をしている。その中には制服代は含まれているので、いくらかは補助となっている。一般の家庭には、補助はない。小学校は、来年度統合を控えており、準備委員会の中で制服は決まっている。今すぐ制服をなくすことは難しい。補助については課題になってくると思われるので、課の方に持ちかえりたい。

貴重なご意見をいただいた。参考にさせていただきたい。

(委員)

第3期計画での13事業と新規事業(⑭～⑰)の中で、11月28日に示されると思うが、子どもの居場所づくり支援とは、どのような子どもを想定しているか。

(事務局)

居場所支援について、当町では厳しいものと思われる。元気に学校に行っている子、ひきこもり、行きしぶりの子など全ての子どもを対象に考えている。

(委員)

抜本的な少子化対策、育児休業制度の大胆な拡充が必要ではないか。

(議長)

町がどのような方向性をもって子育て支援をするかということを根本的に考えていかなければならないという意見をいただいた。

(事務局)

貴重なご意見をいただいた。国の制度に渡る内容も含むので、今後の参考にさせていただきたい。

(事務局)

第2回子ども子育て会議の日程は、令和6年11月28日 木曜日午後4時から予定している。参加をお願いしたい。